D01455701C

ESOTERIC

Grandioso N1

Network Player/DAC

取扱説明書

目　次

注意

本機を使用するには、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。

本機のアナログ出力は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定をしてからご使用ください。

設定方法は、17 ページの「設定モード」と 20 ページの「アナログ出力設定」をお読みください。



The MQA logo is a trade mark of MQA Limited.



Being Roon Ready means that ESOTERIC uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

"DSD" is a registered trademark.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

App Store is a service mark of Apple Inc.

Android is a trademark of Google Inc.

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、当社ホームページ内の製品ページに記載します。
https://www.esoteric.jp/jp/product/n1/download

お使いになる前に 4
付属品の確認 4
設置について 5
お手入れ 5
使用上の注意 5
電源の極性について 5
安全にお使いいただくために 6
接 続 8
ES-LINK Analog で接続する場合 10
ネットワークの接続 11
各部の名称 12
基本操作 13
電源オン / スタンバイ 13
簡易再生 13
ダイレクト再生 13
入力ソースを切り換える 13
ネットワークプレーヤー機能を使用する 14
USB DAC 機能を使用する 15
対応 OS 15
ドライバーのインストール 15
再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード 15
音楽ファイルを再生する 16
設定モード 17
設定 1 18
PCM 信号の DSD コンバート 18
クロック 18
PCM フィルター 18
PCM 出力ゲイン 18
NETWORK 再生時の表示 19
ディマー 19
自動ディスプレー消灯 19
オートパワーセーブ 19
設定 2 20
PCM 信号の D/A コンバート動作モード 20
DSD フィルター 20
アナログ出力 20
音量調節 21
ネットワークアクセスモード 21
ETHERNET 端子の LED 21
メニュー表示自動終了時間 21
ファームウェアのバージョン表示 21
MQA (Master Quality Authenticated) 22
RAAT モード 22
設定 / 解除方法 22

次のページへ続きます。 ➡

目　次（続き）

困ったときは 23
　一般 23
　クロックシンク 23
　パソコンとの USB 接続 23
仕　様 24
　出荷時の状態に戻す 24
寸法図 26
保証とアフターサービス 27

お使いになる前に

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書は、ESOTERIC ウェブサイトからダウンロードすることができます。
https://www.esoteric.jp/jp/

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (28 ページに記載) にご連絡ください。

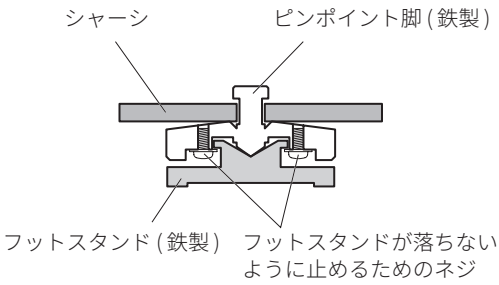
電源コード × 1
キャップ（DC IN 用）× 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード × 1

使用上の注意

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット



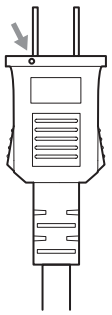
楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
  ※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。
- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。
  ※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (28 ページ) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (28 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20 cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5 cm 以上、背面から 10 cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 **分解禁止**	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (28 ページ) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は 27.8 kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

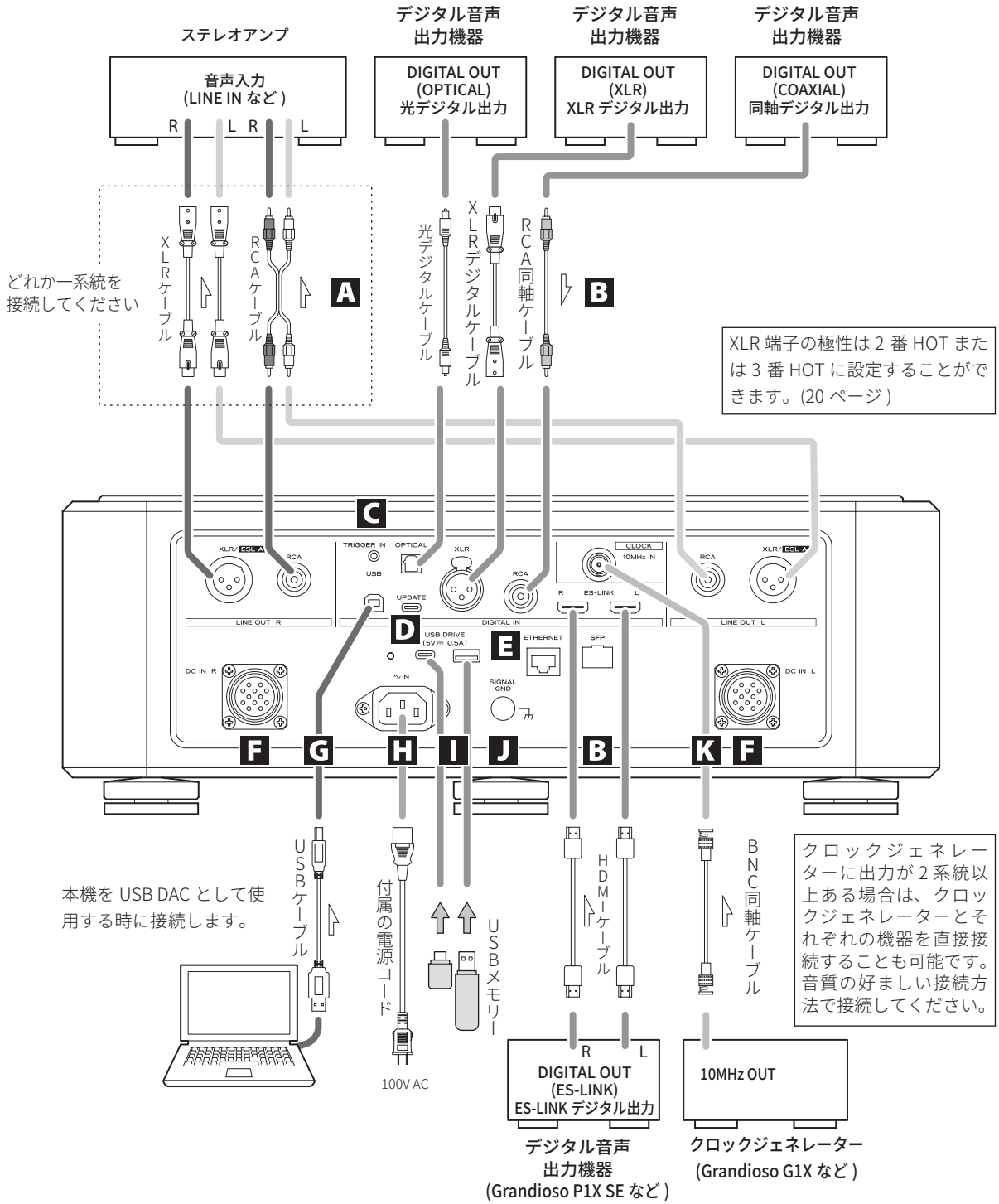

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (28 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR/ESL-A : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

接続した端子に合わせて、アナログ出力の設定を行ってください。(20 ページ)

- アナログ音声出力は、XLR(極性は 2 番 HOT または 3 番 HOT)、RCA および ESLA から選択できます。(20 ページ)
- 本機と ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプを接続する場合は、本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とアンプの ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) を接続することを推奨します。(10 ページ)

B デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。
Grandioso P1X SE などのデジタル機器のデジタル出力端子と接続してください。

ES-LINK: HDMI ケーブル

- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。
- Grandioso P1X SE との接続は ES-LINK 接続を推奨します。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)
XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル

- 32kHz ～ 192kHz、24bit までの信号が受信できます。

C トリガー端子 (TRIGGER IN)

電源をコントロールするための端子です。
この端子を使わないときは何も接続しないでください。

D メンテナンス用端子 (UPDATE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

E LAN 端子

ETHERNET

LAN ケーブルを使って、ネットワークに接続してください。(11 ページ)

SFP

SFP モジュールを使って、ネットワークに接続してください。(11 ページ)

- 1000Mbps に対応した SFP モジュールをお使いください。より速い速度のみに対応した SFP モジュールは接続できません。
- SFP+ モジュールには対応していません。

接続には市販の LAN ケーブルまたは SFP モジュールをお使いください。

- LAN ケーブルと SFP モジュールのどちらか一方を使って、ネットワークに接続してください。
  両方をつなぐと LAN がループ接続され、LAN 全体の通信速度が低下したり、通信ができなくなります。

F DC IN 端子

パワー サプライ ユニット Grandioso PS1 と接続するための端子です。
指定された機器以外との接続はしないでください。

G USB 端子 (USB)

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。
接続には市販の USB ケーブルをお使いください。
接続の前に 15 ページの注意をよくお読みください。

H 電源インレット (～ IN)

電源インレットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
本機の電源インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

次のページへ続きます。 ➡

I USB ドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- 供給電流は最大 0.5A です。
- この端子は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生する場合にのみ使用できます。

J アース端子 (SIGNAL GND)

アース端子を D/A コンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

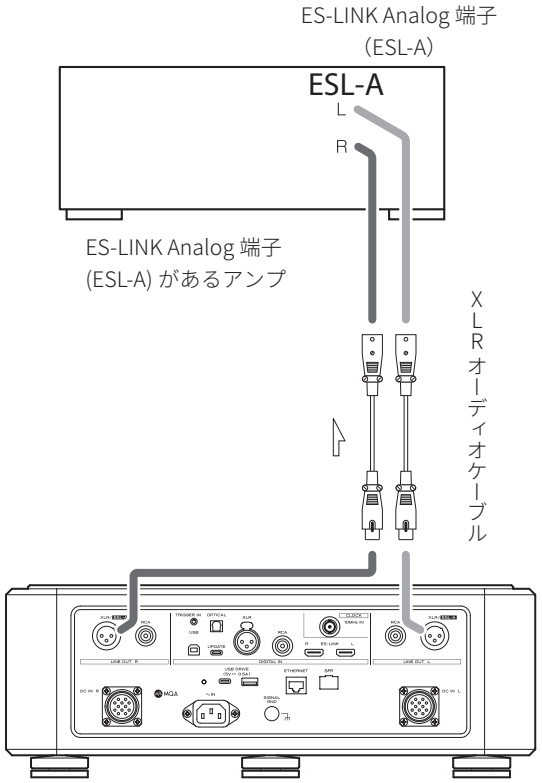
K クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN)

XLR 端子もしくは RCA 端子から出力する場合、10MHz の同期信号 (クロック) を入力できます。(18 ページ)
マスタークロックジェネレーターを使用する場合は、マスタークロックジェネレーターのクロック出力端子と本機のクロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) を接続してください。

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50Ω または 75Ω のものをお使いください。

ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプと本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とを XLR オーディオケーブルで接続します。

- 本機のアナログ出力設定 (AOUT) を ESLA にしてください。
- XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

ES-LINK Analog について

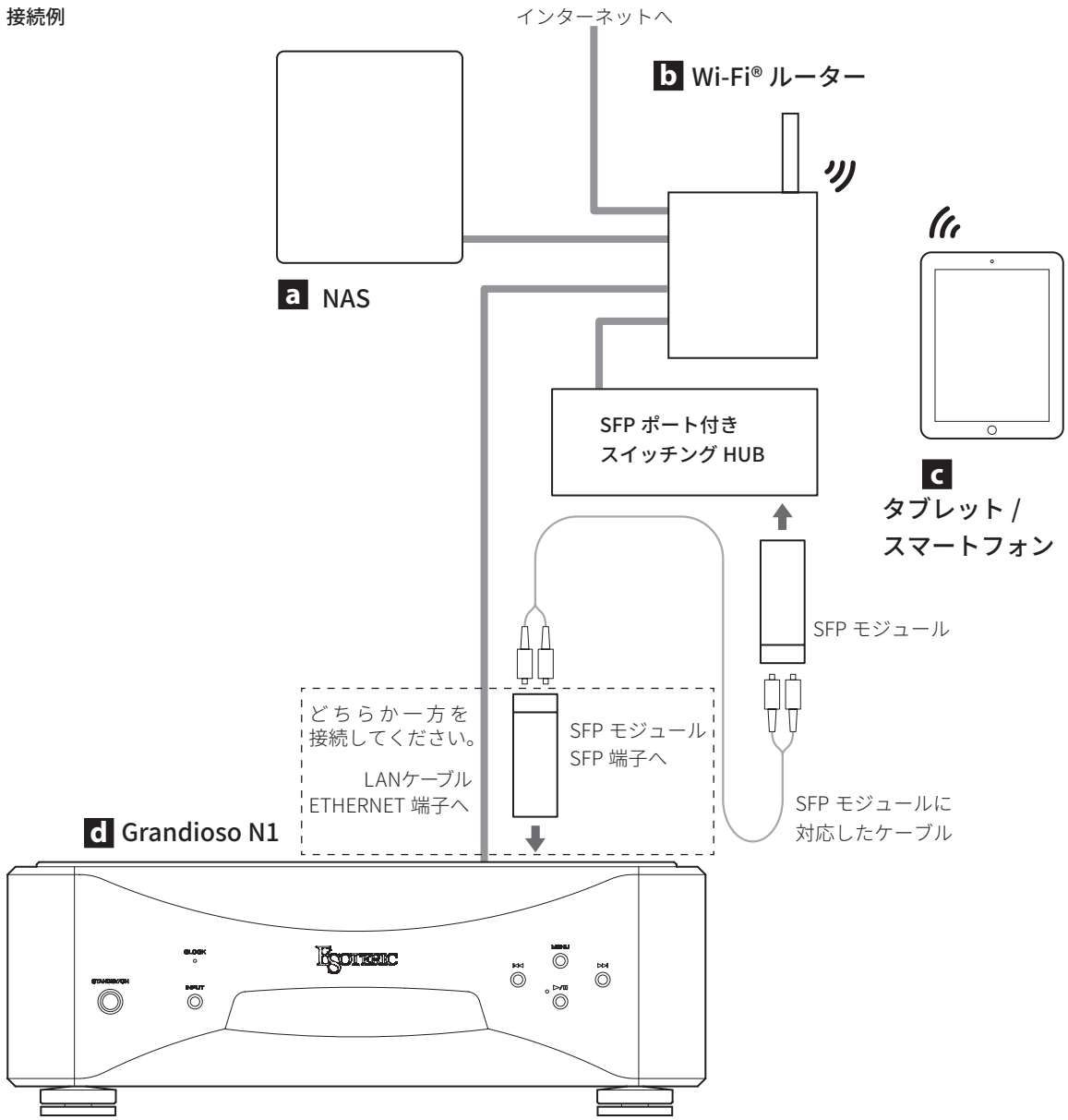
ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の高性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用できません。

ネットワークの接続

- インターネット接続は、タブレット / スマートフォンへのアプリのインストールや、本機の NET ファームウエアのアップデート、インターネットラジオなどに必要です。

接続例



a NAS(ネットワークアタッチトストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作していることが必要です。

b Wi-Fi® ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

c タブレット / スマートフォン

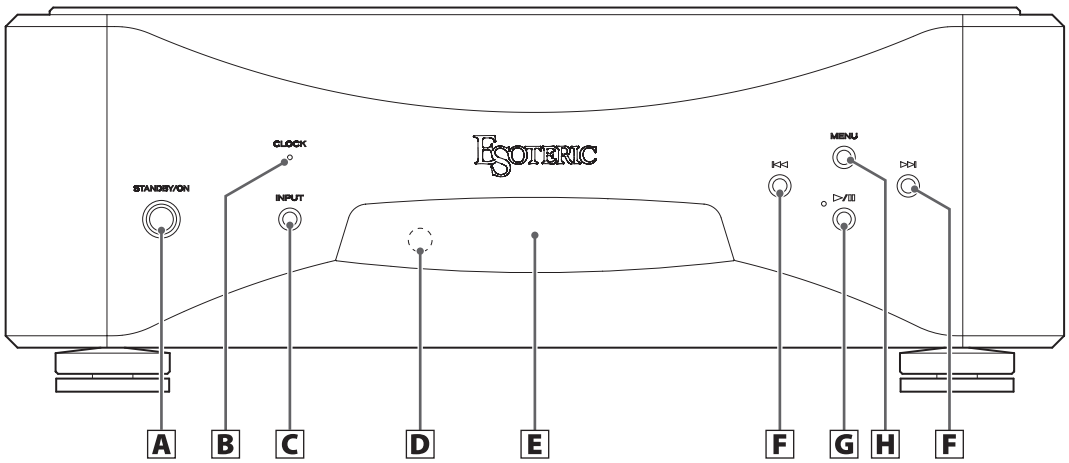
アプリをインストールして、本機をコントロールします。

d Grandioso N1

本機

- LAN ケーブルと SFP モジュールのどちらか一方を使って、ネットワークに接続してください。
  両方をつなぐと LAN がループ接続され、LAN 全体の通信速度が低下したり、通信ができなくなります。

各部の名称



A 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源のオンとスタンバイを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がスタンバイのときは、消灯します。
本機を使わないときは、電源をスタンバイにしてください。

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロックモード (CLK>) を「IN」にすると点滅を始め、クロックを感知して同期すると点灯に変わります。

C 入力切換ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。デジタル機器が接続されている端子を選んでください。デジタル信号が入力されていないときは、ディスプレーが点滅します。(13 ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

- 本機にリモコンは付属していません。
- 本機は、エソテリック製品付属リモコンでディマー、入力ソース切り換え、NETWORK の再生関連の操作を行えます。

E ディスプレー

入力ソースやサンプリング周波数、再生時間などの情報を表示します。

F スキップボタン (I◄◄ / ►►I)

入力ソースが NETWORK のとき、プレイリストの再生位置を前または後ろにスキップします。

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
(17 ページ)

G 再生 / 一時停止ボタン (► / ❚❚)

入力ソースが NETWORK のとき、設定されているプレイリストの再生をします。(13 ページ)
再生中はこのボタンの横にある再生インジケーターが点灯します。

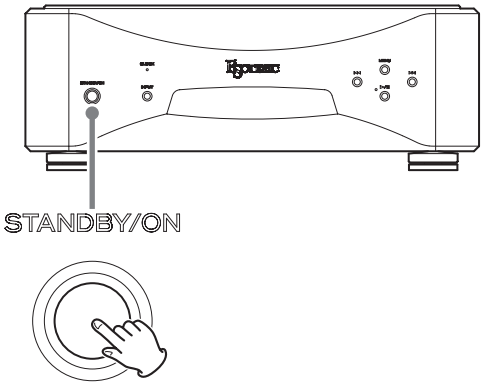
再生中に押すと、再生を一時停止します。
一時停止中は再生ボタンの横にある再生インジケーターが点滅します。

H メニューボタン (MENU)

設定モードに入ります。(17 ページ)

基本操作

電源オン / スタンバイ



電源ボタン (STANDBY/ON) を押すたびに、電源のオン / スタンバイが切り換わります。オンのときは、ボタンの周囲が点灯し、本体のディスプレーが点灯します。

- 電源オン後、アプリを使って再生操作をしてください。
- 本機を使用するときは、接続してある機器 (アンプなど) の電源もオンにしてください。アンプの電源は最後に入れてください。

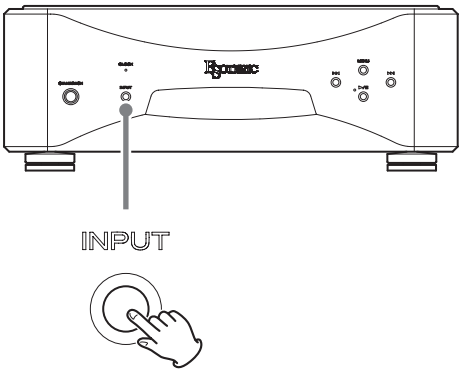
簡易再生

入力ソースが NETWORK のとき、本機と接続した OpenHome 対応のコントロールアプリ（ESOTERIC Sound Stream など）を使用し、プレイリストに楽曲を登録すると、本機の再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) とスキップボタン (⏮/⏭) を使用してプレイリストに登録された楽曲の再生操作を行うことができます。

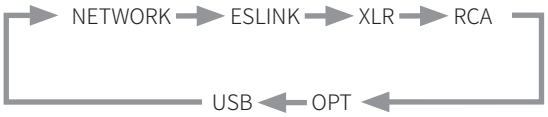
ダイレクト再生

入力ソースが NETWORK 以外のとき、本機と接続した OpenHome 対応のコントロールアプリや Roon から楽曲の再生操作を行うと、本機の入力ソースは自動的に NETWORK に切り換わります。
同様に、入力ソースが ESLINK 以外のとき、本機と ES-LINK 接続した ES-LINK デジタル出力機器 (Grandioso P1X SE など) から楽曲の再生操作を行うと、本機の入力ソースは自動的に ESLINK に切り換わります。

入力ソースを切り換える



入力切換ボタン (INPUT) を押すたびに、以下のように入力ソースが切り換わります。



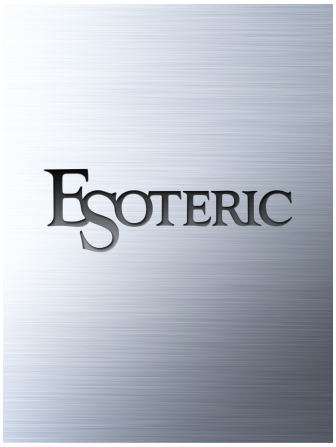
(パソコン用 USB 入力)　(光デジタル入力)

- 入力信号がデジタルオーディオ信号ではない場合や、Dolby Digital、DTS など本機が対応していないオーディオ信号フォーマットの場合、サンプリング周波数表示部に「- - -」と表示されます。接続している機器のデジタル出力設定を PCM オーディオ出力にしてください。
- USB ドライブ端子 (USB DRIVE) に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NETWORK にして、アプリを使って再生してください。

ネットワークプレーヤー機能を使用する

本機のネットワークプレーヤー機能は、OpenHome、Roon Ready、Spotify Connect、Qobuz Connect、Tidal Connect などに対応しています。それぞれのサービスに対応したアプリを使うことで、楽曲の再生を行うことができます。

- iOS、Android に対応した OpenHome コントロールアプリ「ESOTERIC Sound Stream」をご利用いただけます。App Store または Google Play ストアにて「ESOTERIC Sound Stream」で検索してください。



- ESOTERIC Sound Stream 取扱説明書をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。

  https://www.esoteric.jp/jp/product/sound_stream/download

- ETHERNET 端子、USB ドライブ端子 (USB DRIVE)、を使用する場合は、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークモジュールのファームウェアは ESOTERIC Sound Stream を介して更新されます。定期的に ESOTERIC Sound Stream で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。
  ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

OpenHome http://openhome.org/

本機の中にプレイリストデータを持ち、NAS や本機に接続された USB メモリーに格納された楽曲を OpenHome 対応のコントロールアプリ（ESOTERIC Sound Stream など）を使用し、プレイリストに登録することで、楽曲を再生することができます。 ESOTERIC Sound Stream を使用すると、Tidal や Qobuz などのストリーミングサービスからもお好みの楽曲をプレイリストに登録することができます。
OpenHome では、プレイリストが再生デバイス側に格納されているため、プレイリストへの楽曲の登録後は、コントロールアプリを終了させてもプレイリストの曲順通りの再生が可能です。

Roon Ready https://roonlabs.com/

本機は Roon Labs からリリースされている音楽再生・管理ソフト Roon での楽曲再生に対応しています。 Roon システムは 3 つの要素「Control（操作部）」、「Core（中核部）」、「Output（出力部）」から構成されています。 本機は、Roon 独自の高音質オーディオ伝送フォーマット RAAT（Roon Advanced Audio Transport）に対応したオーディオ出力部の役割を担います。
また本機では、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うため RAAT モードを選択できます。 通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Qobuz Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon での楽曲再生に特化したモードです。

- RAAT モードの設定方法は、22 ページを参照ください。
- RAAT モード時は、Roon アプリからのみコントロールが可能となります。

Spotify Connect https://www.spotify.com/
Qobuz Connect https://qobuz.com/
Tidal Connect https://tidal.com/

ストリーミング音楽サービス Spotify や Qobuz、Tidal の専用アプリから本機を出力先として選択することができます。楽曲選択などの操作は、それぞれのサービスに最適化された専用アプリから行うことができ、スマートフォンなどを使って手軽に本機を使った楽曲再生が可能です。
※ 詳しい操作方法は、それぞれのサービスのアプリを参照してください。

USB DAC 機能を使用する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2025 年 9 月現在)

Mac の場合

macOS Sierra(10.12) 以降

Windows の場合

Windows 10 (32bit/64bit) 以降

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。
ただし、Bulk Pet を使用する場合は、専用ドライバーをインストールする必要があります。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

ご注意

パソコンと USB 接続する前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順と OS の設定方法は、ドライバーに添付されている ESOTERIC ASIO USB DRIVER インストールマニュアルを参照してください。

https://www.esoteric.jp/jp/product/n1/download

転送モードについて

本機は、Isochronous または Bulk Pet で接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP（DSD Audio over PCM Frames）再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。
本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオのデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。
下記 URL からダウンロードしてご利用ください（無償）。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウインドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

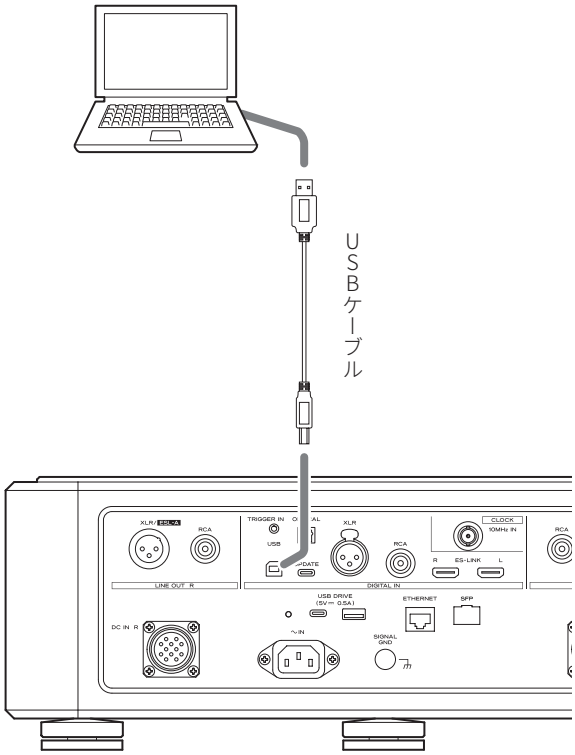
詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

USB DAC 機能を使用する（続き）

音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

USB ケーブルは市販の本機の接続端子に合うものをご使用ください。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオンにする。



4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調節は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調節するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調節してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をスタンバイにする
  - ・入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

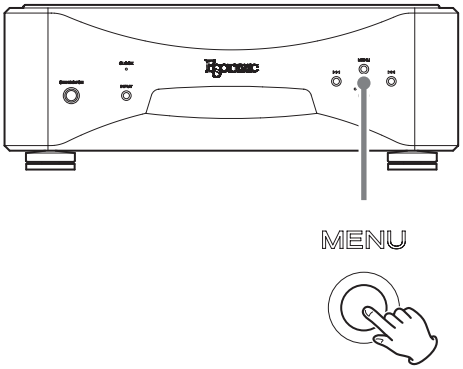
設定モード

本機の設定は、設定１、設定２の２つのグループに分かれています。
設定１には選択されている入力ソースの設定が含まれています。
設定２は表示や製品全体に関係する設定をします。
メニューボタン (MENU) の押し方によって設定１、設定２と通常表示を切り換えます。

メモ

設定１の DSDcnv、CLK、PCMF、PCMG を変更するときは、入力切換ボタン (INPUT) を押して、変更する入力ソースを選択してからメニューボタン (MENU) を押してください。

1 メニューボタン (MENU) を押す。

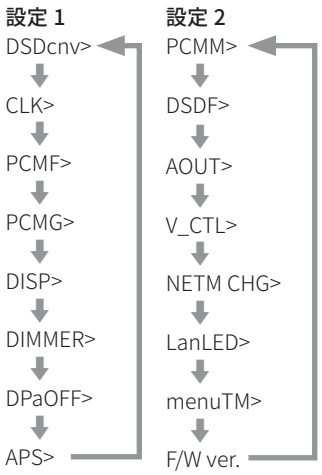


設定１が表示されます。

設定２を表示するには、メニューボタン (MENU) を長押ししてください。

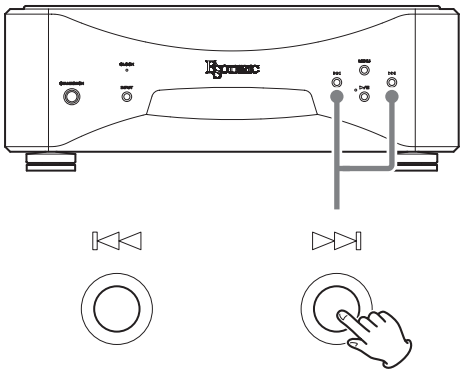
2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

メニューボタン (MENU) を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。



- メニュー表示自動終了時間 (menuTM>) で設定された時間（初期値 10 秒）以上放置すると、メニュー表示が解除されて通常の表示に戻ります。
- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。

3 スキップボタン (I◄◄/►►I) を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

- F/W ver. 表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。D/A コンバーターファームウェア表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、F/W ver. 表示に戻ります。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

4 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押して、設定を終了する。

- メニュー表示自動終了時間 (menuTM>) で設定された時間（初期値 10 秒）以上放置すると、メニュー表示が解除されて通常の表示に戻ります。

PCM 信号の DSD コンバート

DSDcnv> ＊＊＊

PCM 入力信号を DSD 信号に変換できます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。

OFF

DSD コンバートを行いません。

- 入力信号をそのまま D/A コンバーター部に伝送します。

ON

PCM 入力信号を DSD 信号に変換して、D/A 変換を行います。

クロック

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定ができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、OFF を設定してください。
- 各入力ごとに設定可能です。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。

NETWORK、USB 入力時は内蔵発振器を使用し、クロックインジケーター (CLOCK) が緑色に点灯します。

IN

本機のクロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が青色に点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力オーディオ信号と入力クロック信号は同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

PCM フィルター

PCMF> ＊＊＊

PCM 入力信号のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- ESLINK 入力時は FIR を選択できません。

OFF

PCM 再生時にデジタルフィルターを使用しません。

FIR

プリエコーのないスローロールオフ特性の FIR 型デジタルフィルターを使用します。

RDOT

フルエンシー関数による独自の類推補間技術を使用したスローロールオフ特性のデジタルフィルターを使用します。

PCM 出力ゲイン

PCMG> ＊＊＊

PCM 信号再生時のゲインを設定します。PCM 信号再生時と DSD 信号再生時の音量差を少なくすることができます。
必要に応じて設定してください。

- 出荷時は、「FULL」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。

FULL

ゲイン調整しません。

LOW

PCM 信号のフルスケール 0dB 再生時の出力レベルと DSD 信号の 0dB 再生時の出力レベルが同じレベルになります。
再生された PCM 信号が DSD 信号に対して大きい音量と感じたときに使用してください。

NETWORK 再生時の表示

DISP> ＊＊＊

● 出荷時は「Fs」に設定されています。

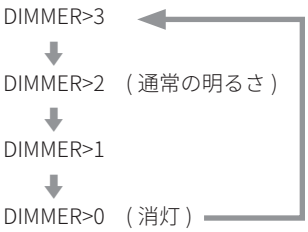
Fs
入力されているサンプリング周波数を表示します。
入力信号がないときや入力信号にロックできないときは、入力サンプリング周波数は表示されません。

TIME
再生中の曲の経過時間を表示します。

ディマー

DIMMER> ＊＊＊

● 出荷時は、「2」に設定されています。
本体のディスプレーの明るさを調節できます。



● 本機はエソテリック製品付属のリモコンの DIMMER ボタンでも操作できます。
● DIMMER>1、DIMMER>0 が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER>2) で表示されます。

自動ディスプレー消灯

DPaOFF> ＊＊＊

● 出荷時は、「OFF」に設定されています。
一定時間経過後、ディスプレーを自動的に消灯する設定ができます。

ON
10 分間状態に変化がない場合にディスプレーを自動で消灯します。

● ディスプレー表示器は、同じ表示状態で長時間放置すると、輝度ムラなどの原因となります。
長時間使用による輝度ムラなどを防止したい方は「ON」に設定することをお勧めいたします。

OFF
自動消灯を行いません。

オートパワーセーブ

APS> ＊＊＊

● 出荷時は、「OFF」に設定されています。

停止の状態が設定された時間続くと、電源を自動的にスタンバイにします。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オートパワーセーブを使用しません。

設定 2

PCM 信号の D/A コンバート動作モード

PCMM> ＊＊＊

PCM 信号再生時の D/A コンバート動作モードを M1、M2、M3 の 3 種類から設定できます。
ΔΣモジュレータの動作周波数やハードウェアの誤差を吸収するためのランダマイズアルゴリズムを変更しています。
M1 が ESOTERIC のリファレンスのモードです。
ΔΣモジュレーターについては、M1、M2、M3 の順に動作周波数が低くなります。
ランダマイズアルゴリズムについては、M1、M2、M3 の順序に入れ換えの度合いが高くなります。
お好みの音色の設定を選択してください。

- 出荷時は「M1」に設定されています。

DSD フィルター

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
デジタルフィルターを使用しません。

F1、F2、F3
デジタルフィルターを使用します。F1 から F3 は、周波数特性の異なるデジタルフィルターで、F1、F2、F3 の順にカットオフ周波数が下がります。

アナログ出力

AOUT> ＊＊＊

使用するアナログ出力端子を設定します。

- 出荷時は「XLR2」に設定されています。

ESLA
XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログオーディオ信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 10 ページを参照下さい。

XLR2
XLR 端子から 2 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

XLR3
XLR 端子から 3 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

RCA
RCA 端子からアナログオーディオ信号を出力します。

音量調節

V_CTL> ＊＊＊

NETWORK 入力時のアプリによる音量調節を設定します。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 設定を変更するには再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を長押しします。

OFF (推奨)
アプリの音量調節を無効にします。
デジタル信号は音量調節ブロックを通らず、D/A コンバーター部に伝送されます。

ON
アプリの音量調節を有効にします。
音量調節は、デジタル領域で音量調節を行うため、DSD データは PCM データに変換されてから、D/A コンバーター部に伝送されます。

- DSD 22.5MHz の音楽ファイルは再生できません。

メモ

設定が「ON」のとき、画面左上に「VOLON」と表示されます。

ネットワークアクセスモード

NETM CHG> ＊＊＊

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 設定の変更方法は 22 ページの「RAAT モード」をご覧ください。

NORM
通常アクセスモード

RAAT
Roon 専用モード
操作は Roon コントロールアプリのみで可能となります。

ETHERNET 端子の LED

LanLED> ＊＊＊

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
  OFF に設定しても、本機の電源をオンにしてから内部の初期化が終わるまでや LAN ケーブルを挿した直後は LED が点滅します。

ON
ETHERNET 端子の LED の点灯 / 点滅を有効にします。

OFF
再生動作中の ETHERNET 端子の LED を消灯します。

メニュー表示自動終了時間

menuTM> ＊＊＊

- 出荷時は「10」に設定されています。

5, 6, … 9, 10, 11, … 29, 30
メニュー表示中に設定時間（秒）を経過すると、通常の表示に戻ります。

∞
メニュー表示を自動終了しません。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。
D/A コンバーターファームウェア表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、F/W ver. 表示に戻ります。

I/F **
I/F ファームウエア

NET **
ネットワークファームウェア

U ***
USB ファームウェア

FPGA **
FPGA ファームウェア

DAC **
D/A コンバーターファームウェア

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
本機は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

MQA ファイルを再生時はソース機器のデジタル処理（アップコンバートなど）を OFF にしてください。

RAAT モード

RAAT（Roon Advanced Audio Transport）のみで動作する RAAT モードを選択することができます。
RAAT モードでは、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うために、通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Qobuz Connect、Tidal Connect など）を停止します。
操作は Roon コントロールアプリのみで可能となります。

設定 / 解除方法

1 設定 2 のネットワークアクセスモード (NETM CHG>) を表示させる。

2 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を長押しする。
NETM>NORM または NETM>RAAT が表示されます。

3 もう一度、再生 / 一時停止ボタン (►/II) を長押しする。
表示されている NETM>NORM または NETM>RAAT モードに移行します。

本機のネットワークプレーヤープログラムが自動的に再起動します。

- RAAT モードで動作しているときは、本体のディスプレーに RAAT マークが表示されます。
- RAAT モードでは、本機は ESOTERIC Sound Stream などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Qobuz、Tidal などのアプリから認識されません。
- NORM モードでは、OpenHome などの各サービスを使用可能な状態になります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (28 ページに記載) にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。

電源が自動的にスタンバイになる。

➡ オートパワーセーブ機能が働いて電源がスタンバイになっています。
本体の電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにしてください。
必要に応じてオートパワーセーブの設定を変更してください。(19 ページ)

ボタンを押しても反応しない。

➡ 続けてボタンを押すと、本機が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、本機が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

➡ アンプ、スピーカーなど接続機器との接続および設定を確認してください。

➡ Wi-Fi® ルーター、NAS などのネットワーク機器の接続および設定を確認してください。

➡ アンプなどの音量を調節してください。

➡ 一時停止中は音が出ません。アプリを操作して通常の再生に戻してください。

クロックシンク

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない。

➡ クロックシンクを使用しない時は、クロックモード (CLK>) を「OFF」に設定してください。

➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロックジェネレーターのクロック出力の周波数が 10MHz であることを確認してください。また、クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「 プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る。

➡ クロックモード時にスピーカーから「 プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続している機器がクロックモードになっていない可能性があります。クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) の接続状態や、接続している機器のクロックモード設定を確認してください。

(正常に) 再生できないオーディオファイルがある。

➡ メディアサーバー (NAS) によってそれぞれ対応ファイルの種類が異なります。メディアサーバー (NAS) の仕様も併せてご確認ください。

音が途切れ途切れに再生される。

➡ 44.1kHz などの低いビットレートや MP3 などの不可逆圧縮のファイルでは正常で、384kHz などの高いビットレートや FLAC などの可逆圧縮ファイルで音が途切れる場合、ETHERNET の速度が不足している可能性があります。

パソコンとの USB 接続

パソコンで本機が認識されない。

➡ 対応するパソコンの OS は、15 ページをご覧ください。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。

雑音がする。

➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

➡ 本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると雑音がでることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない。

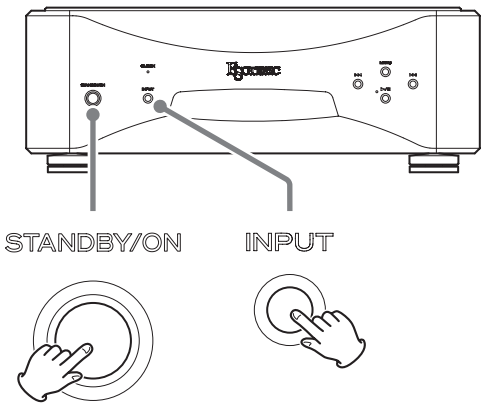
➡ パソコンと本機を接続して本機の入力ソースを「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

困ったときは

出荷時の状態に戻す

設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。



スタンバイ時に本体の入力切換ボタン (INPUT) を押しながら電源ボタン (STANDBY/ON) を押す。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

ネットワーク部

対応ファイルフォーマット
- PCM ロスレス ..... FLAC、ALAC、WAV、AIFF、MQA
- DSD ロスレス..... DSF、DSDIFF（DFF)、DoP
- 圧縮オーディオ..... MP3、AAC

ETHERNET 端子 1
(1000BASE-T)
SFP 端子 1
(1000BASE-T/-LX(single mode)/-SX(multi mode))
USB ドライブ端子 (USB2.0 以上推奨) ..... 1 (TYPE-A)
1 (TYPE-C)
- 対応ファイルシステム ..... FAT32、exFAT または NTFS
シングルパーティション
- 最大供給電流..... 各 0.5 A

対応サンプリング周波数
- PCM ..... 44.1 ～ 768 kHz、
16 bit、24 bit、32 bit
- DSD ..... 2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz

デジタル音声入力

ES-LINK..... 1 系統 (L/R)
- 入力信号形式
  - リニア PCM (ES-LINK5 フォーマット)
    44.1 ～ 768kHz、
    48bit
  - DSD (ES-LINK5 フォーマット)
    2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz

XLR..... 1 系統
- 入力レベル..... 5.0 Vp-p
- 入力インピーダンス ..... 110 Ω
- 入力信号形式
  - リニア PCM (AES/EBU フォーマット)
    32 ～ 192 kHz、
    16bit、24 bit
  - DSD (ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット)
    2.8 MHz

RCA..... 1 系統
- 入力レベル..... 0.5 Vp-p
- 入力インピーダンス ..... 75 Ω
- 入力信号形式
  - リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
    32 ～ 192 kHz、
    16 bit、24 bit
  - DSD（DoP フォーマット）..... 2.8MHz

OPTICAL ..... 1 系統
- 入力レベル..... – 24.0 ～ –14.5 dBm peak
- 入力信号形式
  - リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
    32 ～ 192 kHz、
    16 bit、24 bit
  - DSD（DoP フォーマット）..... 2.8 MHz

USB ..... 1 系統（TYPE-B）
USB2.0 以上推奨
入力信号形式
リニア PCM ..... 44.1 ～ 384 kHz
16 bit、24 bit、32 bit
DSD
2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz

クロック入力

BNC 端子..... 1
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力可能周波数..... 10 MHz (± 10ppm)
入力レベル
矩形波 ..... TTL レベル相当
サイン波 ..... 0 .5 ～ 1 .0 Vrms

外部コントロール入力

トリガー端子 (TRIGGER IN)..... 1
(3.5mm モノラルミニジャック)
入力レベル..... 12 V、1 mA

アナログ音声出力

XLR/ESL-A..... 1 系統 (L/R)
RCA..... 1 系統 (L/R)
出力インピーダンス
XLR..... 50 Ω
RCA..... 18 Ω
最大出力レベル (1kHz、10k Ω負荷時)
XLR..... 5.0 Vrms
RCA..... 2.5 Vrms
オーディオ特性（DSD2.8M 0dB、DSDF ＝ F2、XLR 出力時）
周波数特性..... 5 Hz ～ 30 kHz (− 3 dB)
S/N 比 ..... 113 dB (A-Weight)
歪率 ..... 0.001% (1 kHz)

一般

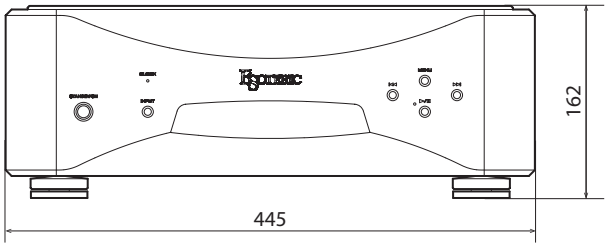
電源 ..... 100V AC 50/60Hz
消費電力 ..... 37 W
スタンバイ時 0.3 W
外形寸法..... 445mm × 162mm × 447mm
(WxHxD、突起部含む)
質量 ..... 27.8 kg
許容動作温度..... ＋ 5°C～＋ 35°C
許容保管温度..... − 20°C～＋ 55°C

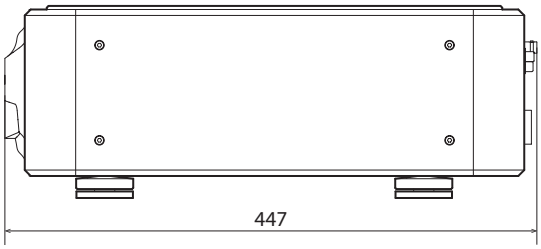
付属品

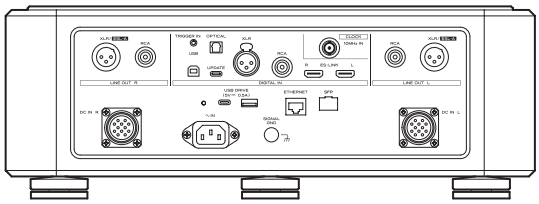
電源コード × 1
キャップ（DC IN 用）× 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード × 1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

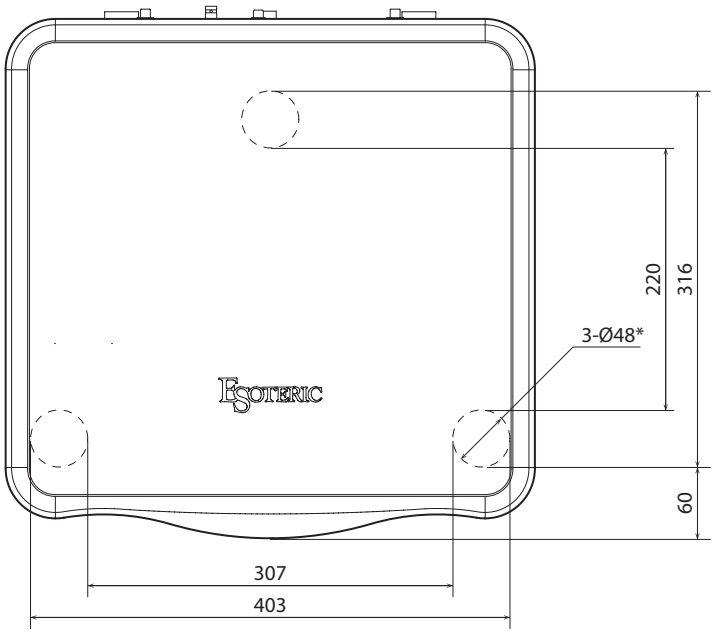
寸法図







フット配置図



* 直径 48mm フット× 3

単位 mm

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (28 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

28 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (28 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークDAC
Grandioso N1
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47
https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

PRINTED IN JAPAN 1125 MA-4096C